

中山間地における ‘ピオーネ’の産地づくり

課題の背景

浜田市金城町では、地域を代表するあらたな特産品づくりを目指し、平成15年から‘ピオーネ’の産地づくりが進められ、現在、生産者は17名、栽培面積は2.5haにまで拡大している。

今後、成園化が進み本格的な出荷が始まるため、販売促進や栽培技術向上に向けた取り組みが必要である。

活動の内容

産地目標：「地域を代表する『逸品』の生産と有利販売」

新商品開発

- 旨味の追求
- 新用途の提案
- 加工品の開発

販路拡大

- 地域知名度のアップ
- 県内販売の強化
- 県外へのアプローチ

栽培技術向上

- 高品質化
- 単収アップ
- 安定生産

プロジェクト活動による連携した支援体制

浜田市農林業支援センター・浜田市
JAいわみ中央・浜田農業普及部
しまねブランド推進課

活動の成果

- 開発された新商品 ～ 商品ラインアップ ～
 - ・ ネット掛けピオーネ（旨味追求の完熟品）
 - ・ 巨大粒ピオーネ（洋菓子材料向け1粒品）
 - ・ プチピオーネ（シングル向きの手ごろ小房品）
 - ・ ピオーネ高品位加工品（1次加工品含む）
（ジュレ、アイス、セミドライ果実、ピューレジャム）
- 首都圏への商談と求められる商品の提案
- 広島大学との連携による旨味指標の開発



ネット掛けピオーネ

残された課題

- 販路拡大(新販路開拓と契約的取引)
- 旨味追求による他産地との差別化(旨味指標による摘期収穫・ネット)
- 有利販売に向けた出荷期間の拡大(収穫期拡大と貯蔵技術導入)